

【考案の動機】

最近、室内用小型高所作業車の検査の実施頻度が増えているが、検査項目の中で傾斜センサー作動をテストする際坂道を確保が困難であり天井クレーン等が無い場合は簡単な坂道を渡り板で製作しテストしていたが角度設定が難しかった。（坂道を上り下りして角度を微調整した）

【考案の内容】

渡り板を油圧ジャッキにて上げることにより、坂道角度を機種により定めているセンサー角度に設定出来る様にした。今までは、一枚の板で坂道を渡っていたため、左右の床面の水平度が違っていても修正出来なかった。（検査場所の床面が平らな所とは限らない）今回は別々に調整出来る様に分割タイプとした。



治具を測定場所に設定した状態



微調整は角度計にて測定を実施する

【考案の効果】

角度の微調整が出来るため検査の精度アップが可能となった。又、治具の持ち運びが簡単であり客先のどのような場所でも検査ができ角度設定の時間も短縮された。